

誤嚥予防,食事のためのポジショニング POTTプログラム [Web動画付]

迫田 綾子, 北出 貴則, 竹市 美加 ● 編

B5・頁192
定価:2,750円(本体2,500円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-04322-9

評者 川嶋 みどり
日本赤十字看護大名誉教授

人間の食事は生命の維持やエネルギー源になるばかりか、おいしく楽しく食べることで幸福感や充実感さえ得られ、飲食を媒介にして親睦や相互交流を深めてきた。また、古くから家庭でも病院でも、病人の食事は療養の基本とされ重要な位置を占めてきた。終末期であってもスプーン1杯のスープが生きる力に通じるように、衰弱している病人が少量でも何かを食べることで意欲が増し回復に向かうことは、私の看護師現役時代に少なからず経験したことである。だが、輸液、非経口的栄養摂取法の発達、簡便な胃瘻造設、NST加算などの診療報酬による誘導、加えて分業や病院給食の外部化に伴い、患者の食事の世話をすることに對する看護師の関心も次第に薄れてきた印象がある。

「食べるよろこびを伝え、支え合う」を実現する1冊



7つのポイントで行う食事時のポジショニング技術
わかりやすい解説と豊富な写真、動画で
方法と根拠がよくわかります。

本書は日本看護学会認定
「食生活とQOL」においてQOL, 69%と評価された「POTTプログラム」
の活用を推進する目的で編纂された。POTTプログラムは、
誤嚥予防プログラムとして、安全で効果的なケアが期待できる。

プロジェクトである。誤嚥を予防し食事の自立を通して豊かな食生活をめざし、技術と教育方法のプログラムを構成した。その核をポジショニングに特化した契機は、POTTプロジェクト代表で本書の編者の迫田綾子氏が立ち上げた摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程の演習(2009)にあった。同時に「誤嚥を予防する食事時のポジショニング教育モデルの構築」研究[科学研究費助成事業、基盤研究(C), 2009]から得た臨床知を踏まえて、数年以上にわたってプログラムの効果検証研究を重ねながら普及研修の基盤を整えた。以来、その活動は全国各地に飛び、POTTプログラムの心と技の伝承を受けた看護師らの数も相当数に及んでいるという。

そのプログラムは、ベッド上および車いすポジショニング、食前、食事中、食後の姿勢調整と食事介助の実際で、本書はその多彩な組み合わせのバリエーションに沿いながら、ビジュアルな展開によって初心者にも理解可能な内容になっている。今後、本技術を広く高齢者ケアに活用するためには介護分野に普及させる必要があり、ベッド上ではなく通常の食卓での椅座位におけるポジショニングの記述が必須の課題であろう。

ともあれ、全身状態、姿勢保持能力、摂食嚥下機能の総合アセスメントにより、無理のない合理的なポジショニングを決定・保持し、ケアする人もされる人も「食べるよろこびを伝え、支え合う」。その結果、受け手のQOLと支援者の次なるケアへのモチベーションを高めることはいうまでもない。ぜひ一読をお勧めする。

一方、高齢化のもとで70歳以上の高齢者の肺炎の7割以上が誤嚥性肺炎であるという厚生労働省のデータなどがあることから、摂食嚥下障害者への対応については看護・介護面でも注意喚起が促されてきた。そのため誤嚥性肺炎の予防策としては、口腔ケア、口中に含む食事量の管理、食事姿勢の調整などが知られているものの、食事中に1回むせただけで経口摂取を禁止、経管栄養に切り替えて食べる楽しみを奪う現状もある。

上記のような背景のもとでも、「口から食べることの意味」を尊重し「何とかして食べてほしい、安全に嚥下してほしい」思いを抱いている看護師の存在も無視できない。そのような思いをすくい上げ、組織化し具体化するために立ち上げられたのが、本書編集者らによるPOTT【ポジショニングで(PO)食べるよろこびを(T)伝える(T)】

他者理解を促すための ブックガイド

小川 公代
上智大学外国語学部
英語学科 教授

ケアを行うに当たって、自身とは異なる内面世界を生きる患者=他者を少しでも理解しようと努めることは、大切なアティチュードです。とは言え、他者を理解することも、そうした姿勢を維持することも、なかなか難しいのが実際のところ。本連載で紹介する書籍や物語作品は、他者理解に臨む上でヒントを与えてくれるはず。気になる作品を見つけたら、ぜひ手に取ってみてください。

第11回 アンネの靴

究極的な「他者」は物と言えるかもしれない。もちろん、物は道具として用いられる場合もあるが、それ自体が象徴的な意味を含んでいる場合もある。美術批評家ボリス・グロイスの『ケアの哲学』¹⁾を読んでみると、物や身体を象徴的にとらえることこそがケアであると解釈できる。単なる物としてではなく、他者の生が乗り移ったような「物」としてそれらを見始めるとき、そのまなざしにはケアが宿るという考え方である。

小川洋子の小説は物やその記憶がテーマであることが多いが、それらは常に奪われる危機にある。例えば『密やかな結晶』²⁾は、切手、帽子、カレンダーなどの大切な物の記憶が人びとの脳裏から消えてしまう物語で、失われたはずの記憶を隠し持っていないかを秘密警察が監視するのである。あるとき語り手の「わたし」の家にも秘密警察が二人やって来て、彼女の亡くなった父による野鳥研究の関連書物やメモの全てを袋十個に詰め込んで「表に停めてあったトラックで去って行った」。物と共に記憶を保持していることは死者をケアするということでもあり、それらを奪われた「わたし」は、「大切に封じ込めておいた父の気配がすっかり消え去り、代わりにそこは、取り返しのつかない空洞になっていた」と感じている²⁾。

グロイスは、物とこのような象徴的な意味について説明するために、ドイツの哲学者マルティン・ハイデガーが用いた例を参照している。ハイデガーは、芸術的な物とは何かを考える際に、道具とは何かを考察する。わかりやすく言えば、道具とは有用的なものであり、生産性につながる。他方、芸術は世界を開示するものだと考えている。

ハイデガーは、この汚い、擦り切れた靴が、大地の上で懸命に働いて人生を過ごした農婦の世界を明らかにすると書いている。(中略)ハイデガーにとってこの靴は、ゴッホとハイデガーの両方ともまた参与していた、農民の生活の世界への眼差しを開いたのだ¹⁾。

ゴッホが描いた靴を通して、農民の生活の世界へと開かれたまなざしは、その絵の鑑賞者にも開示される。グロイスは、それを「正当な鑑賞者である人民」と表現しているが、文学作品にも適用できるだろう。グロイスは、真の「ケア」とは、「他者や他のものによってコントロールされた世界の中の物になること」に抗うことであるというが、小川はまさに物を書くことによってケアが奪われないよう抵抗している。

小川は『アンネ・フランクの記憶』³⁾というルポルタージュにおいて、戦争やユダヤ人迫害に対して無力だった少女アンネの物に言葉で生の息吹を吹き込んでいる。彼女は、『アンネの日記』の舞台となったアムステルダムに隠れ家、フランク一家の恩人でもあるミーブ・ヒースやアンネの親友の元を訪れた。そして、最後に足を運んだアウシュヴィッツでは、命を奪われたユダヤ人たちの靴の山を目にしている。『「どうしてこんなに靴があるんだ」と、わたしは誰かに問いたたい気分だった。どの靴も皆、濃い灰色をし、形が崩れ、疲れきったように横たわっている』³⁾。この描写はまるでアンネの人生の最期を象徴しているようでもある。

ただ、小川は、アンネの親友だったジャクリーヌ・ファン・マールセンとアンネについて話す糸口として、そのときもやはり「靴」を持ち出しているが、そこにはアンネの生が再現されている。「わたしが一番心に残っているのは、アンネの新しい靴が、ベッドの前の床に、たったいま脱ぎ捨てられたばかりのようになっている…というくだりです。その靴が、好奇心いっぱい、元気いっぱいに駆け回っていた、アンネの化身のように思えたからです」³⁾。

芸術によって世界が開示され、隠されていない状態が「不伏蔵性」であるとグロイスはいう。ゴッホが描いた「靴」やアンネが履いていた「靴」にもその「開示」は見いだされるだろう。



参考文献

- 1) ボリス・グロイス (著), 河村彩 (訳). ケアの哲学. 人文書院; 2023. p133, p127.
- 2) 小川洋子. 密やかな結晶. 講談社; 1994. p23.
- 3) 小川洋子. アンネ・フランクの記憶. 角川書店; 1995. p220, p102.

CLoCMiPレベルⅢ認証申請のための必須研修*承認セミナー

『助産雑誌』公開収録

*「ウィメンズヘルスケア提供のための基盤能力」

母乳外来で心をほぐす 助産力 乳房ケアからはじまる ファミリーケア

日時: 2023年 9月10日(日) 13:30~17:00

会場: 医学書院本社2階会議室 (東京都文京区本郷1-28-23)

対象: 助産師 (病院の乳房外来勤務、開業、フリー)

定員: 40名 受講料: 1名につき9,350円(税込)

講師: 直井亜紀先生

直井亜紀先生

さら助産院 助産師
一般社団法人ベビケア推進協会
代表理事



詳細・申込はこちら



医学書院

「うわっ! またアラームが!」「この設定はどうすれば…?」
こんなとき考え方がわかれば、なにもこわくない!

わかる! たのしい! 人工呼吸

呼吸生理から考える臨床の「なぜ」
Mechanical Ventilation: For Fun and Benefit

▶「呼吸の生理学・病態生理学」から紐解き「人工呼吸管理」をわかりやすく解説。呼吸の仕組みが論理的に理解でき「わかるたのしさ」を感じられる構成。難しい内容を平易な言葉で図を交え説明し、それぞれのパラグラフは通読しやすく簡潔に記載。人工呼吸管理に苦手意識を持つ医師や研修医、また呼吸療法認定士を目指す看護師・コメディカルなどに最適。

訳: 田中竜馬 Pulmonary & Critical Care Medicine Intermountain LDS Hospital Salt Lake City, Utah, USA

定価3,630円(本体3,300円+税10%)
A5 頁328 図171 2023年
ISBN978-4-8157-3066-6



メディカル・サイエンス・インターナショナル
113-0033 東京都文京区本郷1-28-36

TEL.(03)5804-6051
FAX.(03)5804-6055

https://www.medsi.co.jp
Eメール info@medsi.co.jp